

金ETF証拠金取引 WEEKLY REPORT

2023/03/13号

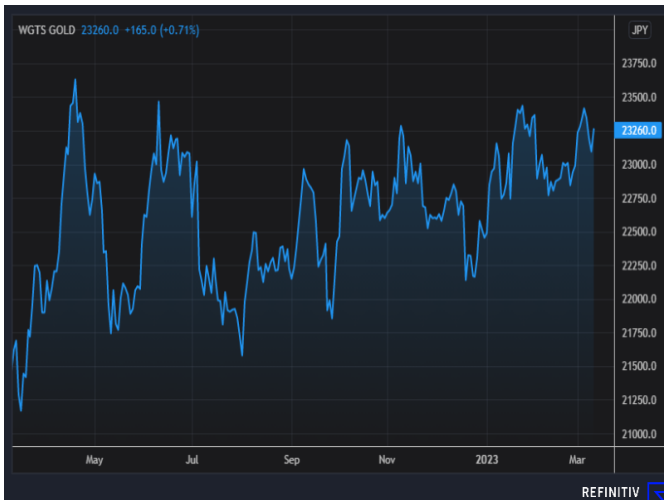
一般社団法人日本貴金属マーケット協会 池水雄一



【ゴールドマーケットの現状】

米銀行破綻、ゴールド安全資産買いで上昇

SPDR Gold Shares円建価格



ゴールドとドルインデックス



前週はイベントフルな一週間でした。週前半にはパウエルFRB議長の議会証言があり、週末金曜日には雇用統計の発表がありました。もう議長の議会証言は、そのタカ派的姿勢をさらに鮮明とさせるものであり、それによりドルが大きく上昇、ゴールドは1850ドル台から1800飛び台まで下落、ゴールドブルにとっては厳しい展開となりました。しかしそれでも1800ドルを割ることはなく、マーケットの下にはそれを支える買いがあることも意識されました。しかし木曜日の失業保険申請件数は市場予想の19.5万件を超える21.1万件と20万件を越える数字、つまりより失業が多く、経済の不調を示す数字となったことから、マーケットにはショートカバーが入り1830ドル台まで戻し、金曜日の雇用統計待ちとなりました。そして雇用統計は市場予想の非農業部門雇用者数22万人増に対して、発表された数字は31.1万人と前月1月の51万人からは減ったものの、予想を大きく上回る数字となり、この数字は米国の雇用市場が堅調で、FRBに金利を上げることが躊躇させない数字であり、本来であればドルが買われてゴールドはふたたび下落するはずの数字でした。ところが、ほぼ同時に米国の16番目に大きな銀行であるSilicon Valley Bankが倒産というニュースがマーケットに激震を与え、ゴールドにはsafe haven buyingが入り大きく上昇、金曜日の終わり値は一週間の高値である1868ドルまで上昇して高値引けとなりました。大手銀行の倒産ということでは、米国では2008年のリーマンショック以来となり、FRBが今後、これまで通り金利を引き上げて行くことが可能かどうか、という疑念が市場に生まれてきています。先週のゴールドが「高値引け」となったことに、市場の不安はまだまだこれからということも考えられます。この金融不安の先鞭とも言える出来事は、今後その行方にマーケットは注目し、その拡がりによっては、もはやゴールドをショートすることに忌避感からさらに大きく上昇する可能性があります。

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

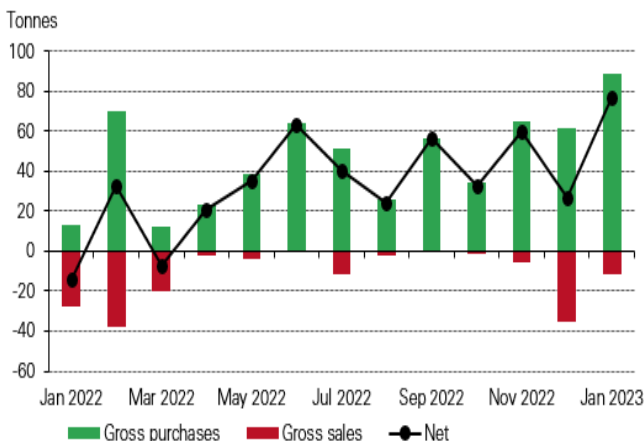
【マーケット・トピック】

「今年も続く中央銀行の買い」

WGC（World Gold Council）によると1月の中央銀行のゴールドの買いは、31トンと発表されましたが、その数日後、シンガポールが44.6トン近くその金準備を増やしたことが公表され、合計77トンに訂正されました。シンガポールの金準備の記録は2000年8月以来発表されていますが、2021年6月以来の増加で、最も大きな買いとなります。この買いでシンガポールの金準備は198.4トンとなりました。77トンという買いは昨年1136トンという記録的な買いとなった中央銀行の買いでもなかった量で、公開された数字では単月では最大の買いとなります。シンガポールに次ぐのはトルコで23トン。トルコの金準備はこれで565トン。中国は1月は15トン、これに続いて2月も24.9トン買ったと発表しています。これらの中央銀行の買いは今年も続きそうです。これがゴールド価格を支えて行くことは確かでしょう。

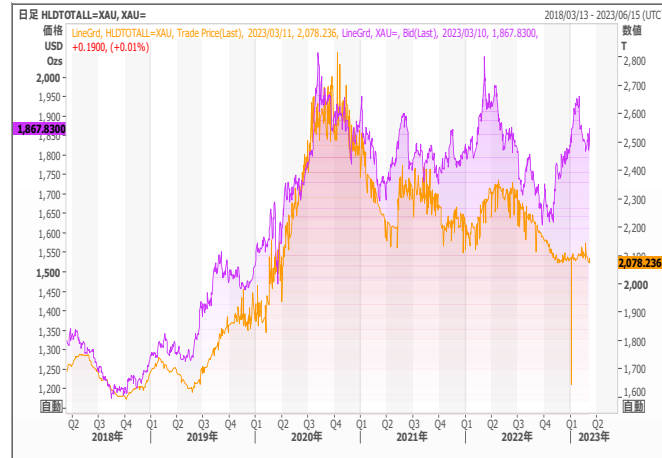
（中央銀行、月別の金買い）

Central banks remain committed buyers of gold in January*



*Data to 31 January 2023 where available.

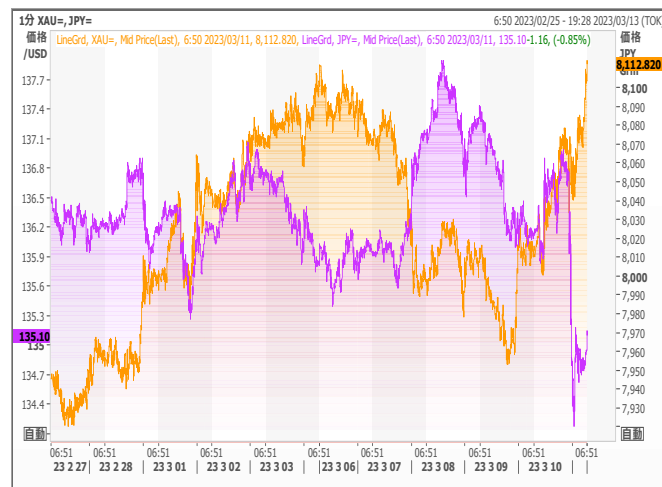
Source: IMF IFS, Respective Central Banks, World Gold Council



Gold ETF残高とゴールド価格



米長期金利とゴールド



円建てゴールドとドル円

本資料のご利用については、必ず巻末の重要事項（ディスクリーマー）をお読み下さい。

【ディスクレーム（免責条項）】

本レポートは、本取引所が一般社団法人日本貴金属マーケット協会から提供を受けて、公表しているものであり、本レポートの内容に関する一切の権利は、一般社団法人日本貴金属マーケット協会に帰属いたします。本取引所は、本レポートの正確性、完全性、適時性等を保証するものではありません。また、本取引所は、本レポートを用いて行う一切の行為及び本レポートに基づいて被った損害について、何ら責任を負うものではありません。

株式会社東京金融取引所

本レポートは、一般社団法人日本貴金属マーケット協会（以下、弊社）が、投資判断の参考となる情報提供を目的に作成したものです。金融商品売買の勧誘を目的としたものではありません。投資に関する最終決定は、投資家ご自身の判断で行って下さい。本レポートは、弊社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づき作成したのですが、情報の正確性、安全性を保証するものではありません。また、本レポートに記載された見解や予測は、本レポート発行時における弊社の判断であり、全部または一部が予告なしに変更されることがあります。本レポートを使用することに生ずるいかなる種類の損失についても、弊社は責任を負いません。本レポートの著作権は、原則として弊社に帰属いたします。本レポートにおいて提供される情報に関して、弊社の承諾を得ずに、当該情報の複製、販売、表示、配布、公表、修正、頒布または営利目的での利用を行う権利を有しません。

【会社名】 一般社団法人日本貴金属マーケット協会（Japan Bullion Market Association）

【所在地】 〒103-0016 東京都中央区日本橋富沢町11-15-503

【URL】 <http://jbma.net>

【E-mail】 info@jbma.net

池水雄一（いけみず・ゆういち）プロフィール

1962年生まれ兵庫県出身。1986年上智大学外国語学部英語学科卒業後、住友商事株式会社入社、その後1990年クレディ・スイス銀行、1992年より三井物産株式会社で貴金属チームリーダーを務める。2006年よりスタンダードバンク東京支店副支店長、2009年に同東京支店で支店長に就任。2019年9月より日本貴金属マーケット協会（JBMA）代表理事に就任。一貫して貴金属ディーリングに従事し、世界各国のプリオン（貴金属）ディーラーでブルース（池水氏のディーラー名）の名を知らない人はいない。

最新情報は
ツイッターで

